

開催日：令和6年8月20日（金）

場 所：（公社）大阪府栄養士会事務局

令和6年度 学校健康教育部会 実践報告会

1、栄養教諭による食品ロス削減行動に関する 授業の影響評価について

発表者 東大阪市立英田北小学校
伯井祥子氏

5年生社会科と関連した食品ロス削減に関する授業を実施。第1時では食品ロスの現状や問題を理解する、第2時では食品ロスに関して自分ができることを考えることをねらいとした。

学習前と学習6か月後の調査解析を行ったところ、授業6か月後の食品ロス削減行動に学習6か月後の食品ロスに対する問題認知と知識が影響を及ぼしていることが示された。

栄養教諭による授業によって、児童の知識の定着、意識・態度の向上、行動の変容が見られ、食品ロスの問題を自分事としてとらえさせるかが、その解決に向けて行動することにつながるということがわかった。

2、学校における減塩教育の効果について

発表者 田尻町立田尻中学校 市政雅美氏
大阪市立加島小学校 大門孝子氏

4年生に適切な食塩の取り方を身につけることをねらいとして授業を実施した。

授業前、授業後、授業1か月後の調査によると、知識（目標量6g／日未満）、意識（こい・うすい）、態度（食塩に気をつけようと思う）は授業後すべてに上昇した。授業1か月後は、知識・態度については下降していたが、意識については横ばいとなった。これは給食の味について話題になったり、給食の味を意識したりして食べているためではないかと考えられる。

（文責 学校健康教育 松田由紀恵）